

# 業界サーチ

## 展示会

### 住まいの耐震博覧会 和風提案で全国建具が初出展

ナイス株

建材商社のナイス株（神奈川県横浜市鶴見区、平田恒一郎社長）は3月26日から28日までの3日間、東京都江東区の東京ビッグサイトにて

「住まいの耐震博覧会」を開催した。同社が主催する「住まいの耐震博覧会」は旧耐震基準で建築された昭和56年以前の既存住宅の建て替えを

啓蒙する目的から発案されたものであり、エンドユーザー及び元請工務店に対し、耐震性に優れた住宅構造や住宅部材を提案している。また、同社が取引する建材メーカーの製品即売会も兼ねており、各種建材の新製品が展示された。

今回、全国建具組合連合会（小松俊悦会長）が初めて同展示会に出展。

「ナイスがおすすすめする組立和室」の企画として、日本の伝統技術を活用した木製建具を出品した。このコーナーは現代の住宅様式に適合するデザインで和風空間を手軽に演出することを主眼とした和の癒しをテ

マとする企画展示。一坪タイプの和室のブースを作り、そこに障子や格子戸をはじめとする和室用の建築部材を提案した。その一環として建具業者が手作りで製作する木製建具を展示。組子細工を駆使した4枚引戸、猫間障子、親子屏風、衝立など、和室の空間演出を高める技巧的な作品が揃えられた。

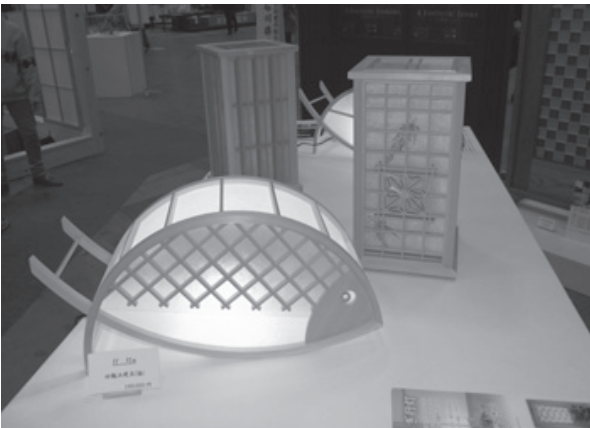
企画展の中では、(株)石森木工が来場者に向けて木工体験と木製の日用品を販売。日頃の生活では経験することの少ない手作業による木工品の製作体験に多くの来場者が訪れた。

同社の石森良洋社長は「我々の仕事は、これまで主にゼネコンが相手であり、エンドユーザーの姿が見えなかった。今回、工務店やユーザーといった人々の意見が聞けたことは建具業界にとって大変意義深い。エンドユーザーに近い人の意見を吸収して、より市場に合った商品開発につながる事ができる」と語り、元請工務店やエンドユーザーから木製建具に関する考えを直接聞くことができた効果を評価した。

和空間の事例として建築された癒しの空間「ひのき庵」は躯体を接合金物で構成し、そこに和の建具と畳



和室の提案コーナーに展示した木製建具



組子細工の行灯



CLTの実物建築